

【第2次札幌新まちづくり計画 平成22年度進行管理評価結果】

『政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街』

重点課題2 札幌の経済を支える企業・人の支援

＜施策の基本方針＞

足腰の強い経済の活力みなぎる都市を目指し、地域の事業者を支援する「元気がんばれ資金」の創設や経営相談の実施、地元企業に対する国内外への販路拡大の支援や製造業の高付加価値化の促進など、札幌を支える産業を支援します。また、起業を目指す市民を対象としたさまざまな支援、若者、女性、中高年などに対する雇用機会の創出や就労支援に取り組むとともに、労働に関する問題解決の支援を行い、安心して働ける環境づくりを推進します。

● 事業費の進捗率

98.9% 算出式：(H19決算額+H20決算額+H21決算額+H22予算額) 329,245,424千円 / (計画事業費) 332,786,800千円

● 施策別の主な取組内容

19～21年度(実績)

【施策1】資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実

市内中小企業へ事業経営に必要な資金を融資(新規融資件数H19: 8,379件→H21: 9,919件、新規融資額H19: 945.3億円→H21: 1,245.3億円)。

【施策2】安心して働ける環境づくりの推進

就業サポートセンターの利便性を向上するため、平成21年12月からインターネットを活用した求人情報等の提供システムを運用(アクセス数7,041件)。

【施策3】創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

市内中小製造業者等に対し、「新製品開発・既製品改良に関する事業(9件)」、「ネットワーク構築・推進に関する事業(3件)」の経費の一部を補助し、競争力・成長性の向上を支援。

22年度(予定)

【施策1】資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実

「景気対策緊急支援資金」の取扱期間延長。
市内IT企業に対して、中国での販路開拓、海外企業とのネットワーク構築を支援。

【施策2】安心して働ける環境づくりの推進

雇用ミスマッチ解消プログラムの新規実施。
非正規労働者向けなど対象を特化した労働に関する基礎知識等を内容とする啓発用小冊子を新たに作成し配布。

【施策3】創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

引き続き女性とシニアのセミナーを合同で開催。
「新製品開発・既製品改良に関する事業」等の補助採択件数については、21年から拡充した7件分で継続する。また、企業ニーズを反映して、要綱改正を行い、対象範囲を拡大する。

● 市民・企業等との協働の状況

■ 市民との連携、市民参加

中小企業ネットワーク構築・推進事業：アドバイザー事業等において、パンフレットや広報さっぽろ、ホームページで広く周知するなど積極的な情報公開に努め、多くの市民の方々が各種制度を利用できるよう努めている。

■ 企業等との連携・協働

就業者総合サポート事業：就業サポートセンターではハローワーク、民間職業紹介事業者の共同により、職業相談・職業紹介をワンストップで行い、厳しい雇用情勢にもかかわらず、就職者が年間1,200人を超えるなど大きな成果となっている。

■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり

コミュニティ型建設業創出事業：コーディネーター事務局・企業グループの公募にあたっては広報さっぽろ・ホームページに募集案内を掲載するとともに、応募者向けの説明会を開催した。また市民に対しては、広報さっぽろや、パンフレットの配布などにより事業の周知を図るほか、利用者にアンケートを行うなどにより、事業に参加しやすい環境づくりに努めた。

● 評価(成果)と課題

【施策1】資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実

資金面での支援では、市内中小企業者に対し9,919件の融資を実行し、中小企業の資金調達に貢献。
⇒中小企業に対する融資資金や相談・アドバイス件数は順調に推移しており、セーフティネット的支援は充実しつつある。しかし、市内中小企業をめぐる環境は依然として厳しく、社会経済情勢や金融環境の変化に機動的に対応していく必要がある。

【施策2】安心して働ける環境づくりの推進

就業サポートセンターでは、厳しい雇用情勢にもかかわらず年間1,200人を超える就職者数を達成。
「仕事の悩み相談室」等の活用により、労働者等が抱える様々な問題解決に努め、安心して働ける環境づくりに貢献。
若年層の就業支援により、就業意欲の向上、合同企業説明会等による雇用機会の増大など、就職率向上に寄与。
⇒厳しい雇用情勢が続くなか、就業サポートセンターを中核とした職業相談、紹介機能の強化を行い、雇用情勢の変化や多様な就職ニーズに対応した、より決め細やかで効果的な就業支援ができる体制を構築する必要がある。

【施策3】創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

新事業にチャレンジする製造業者への支援により、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化等が円滑に行われ、競争力強化・成長性向上につながり、創業支援資金の融資の増加により創業の下支えを行った。
⇒新製品の開発等に関する支援については一定の開発成果が上がっているものの、支援を行うためのフォロー体制の検討や各支援メニューを効果的に連携させながら、企業ニーズを反映し、対象範囲の拡大など適切な支援を実施していく必要がある。

● 今後の重点取組

(財)さっぽろ産業振興財団に民間企業から派遣された支援コーディネーター等による、より高度で質の高いアドバイスが提供できるよう検討を行い、業界懇談会や有識者会議なども踏まえながら、ニーズに即した実効性のある施策を企画・立案していく。
さらに、創業した企業や新事業にチャレンジした企業に対しては、支援を行うためのフォロー体制の検討や各支援メニューを効果的に連携させた支援を実施していく。
また、「安心して働ける環境づくりの推進」という観点では、国や道との連携を一層密にしながら、本市においては女性、若年層や中高年齢層の就業支援を強化するなど、それぞれの役割のもとで、より効果的な事業推進に努めていく。

● 主な達成目標の状況

達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H21(実績)
[中小企業金融対策資金・元気がんばれ資金]新規融資額	1,109億円/年(H22)	1094.7億円/年	1,245.3億円/年
[中小企業金融対策資金・元気がんばれ資金]新規融資件数	8,900件/年(H22)	8,579件/年	9,919件/年
[アジア圏等経済交流促進事業]商談会への延べ参加企業数	230社(H22)	156社	264社
[国内販路拡大支援事業]展示会出展企業数	20社(H22)	10社	18社
就業サポートセンター等の利用者数	100,000人(H22)	91,657人	139,286人
[若年層に対する各種就業支援事業等]受講者数	1,000人(H22)	596人	745人
[若年層に対する就業支援事業受講者]就業率	30.0%(H22)	—	42.4%
雇用創出事業による就職者数(累計)	3,000人(H22)	944人	3,063人
[ベンチャー支援事業]支援対象件数(累計)	26社(H22)	16社	25社
[新製品開発・既製品改良]補助件数(累計)	16件(H22)	—	22件
[コミュニティ型建設業創出事業]業務受注金額	70,000千円(H22)	33,546千円	208,982千円

● 主な施設・サービスの整備水準

該当なし

● 成果指標等の動向

